



在日大韓基督教会  
宣教 100～110 周年標語  
감사의 백년, 소망의 백년  
感謝の百年、希望の百年  
( 데살로니가전서 5:18 )

3月1日(土) 2011 年 第 695 号

発行所 福音新聞社  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
電話 03 (3202) 5398  
発行人/ 崔 栄 信・編集人/ 洪 性 完  
fukuinshinbun@kccj.jp  
info@kccj.jp

## 総会長挨拶

### — 2011 年各地方会総会 에 부쳐서 —

〈主 예수님의 復活을 믿사오니 그 恩惠를 헤아리기에 足한 信仰을 우리 在日大韓基督教会에 許諾하옵소서〉. 지난 1 年을 뒤 돌아 보며 總會와 地方會의 緊密한 紐帶關係가 어느 때보다도 要請되는 때에 各地方會에서 定期總會가 開催될 수 있음을 眞心으로 感謝드리오며, 더불어 우리가 記憶하고 함께 祈禱해야 할 内容들이 共有되는 時間이 되시기를 付託드리며 삼가 인사 드립니다.

#### I. 東日本大震災 被災支援

教会란, 마음을 다하여 하나님을 사랑하고, 그 사랑을 이웃에의 關心으로 나타내는 것이며, 〈가서, 너도 이와 같이 하라〉는 말씀을 繼續 듣는 것이 教会입니다. 主 예수님으로 인하여 他者와 그 生命에 關心이 열리면서, 東日本大震災 以後 被災者와 避難者, 특히 關東地方會 東北地域의 被災教会 및 聖徒들의 苦痛과 勞苦에 答할 수 있는 저희 總會가 되기를 願하면서 慰勞의 말씀과 더불어 災害復旧를 위한 關東地方會의 수고에 感謝드립니다. 또한, 클린 에너지라 믿어 온 原子力發電이 가져온 放射能恐怖를 通하여 現地에 있는 그들이야 어떻든 우리 自身の 安全에만 關心을 갖고 마는 心靈의 加難함을 悔改합니다. 그리고 大震災後, 日常生活 속에서 計画停電을 겪으면서, 우리 스스로 儉約生活과는 無關하게 살아 온 것이 아닌가 反省합니다. 우리들의 教会 또한, 豊饒로움을 追求하던 것은 아닌지 스스로를 돌이켜 보지 않을 수 없습니다. 被災支援을 위한 ボランティア 活動은 社会委員會를 中心으로 긴 時間 동안 運用될 것입니다. 이웃과 더불어 살아가는 在日大韓基督教会의 姿勢가 貴重한 献金과 募金들이 어떻게 쓰이느냐로 나타나라 믿습니다.

#### II. 第 51 回 定期總會 準備

(2011 年 10 月 9 日 午後 7 時～11 日 午後 4 時)

第 51 回 定期總會의 開會礼拝를 처음으로 主日 저녁에 드리기 위해 準備 中입니다(2011 年 10 月 9 日, 午後 7 時). 금번 총회는 第 44 回 定期總會(1997 年) 以来 14 年 만에 西南地方會에서 개최됩니다. 우리의 主人되시는 하나님께서 多樣性 가운데 一致를 體現하는 總會가 되게 하여 주실 줄 믿습니다.

〈豊饒한 教会도 가난한 教会도 모두 同等하게 主님에 의하여 세워 지어 主님의 몸 된 教会로 사는 무리로써, 지금 마음 속 깊은 곳에서 우러나오는 讚揚을 노래하게 하옵소서. 이 讚揚과 祈禱가 지구를 에워 사는 곳, 하나님의 平安이 넘치는 教会로서 이 場所를, 이 때를, 여기 모인 모든 者들을 聖別하여 주옵소서〉

## 聖ヶ丘教会朴壽吉牧師就任

### 日本基督教団との宣教協力の象徴

在日大韓基督教会は、1984 年 2 月 8 日以来、日本基督教会と宣教協約を締結して、今日まで協力し合ってきた。その多くの協力関係の中で、象徴的な出来事であると言える行事が、去る 5 月 1 日に、日本基督教団聖ヶ丘教会で行われた朴壽吉牧師(前、総幹事)の主任担任牧師就任式である。

この喜ばしい就任式を迎えて、本總會の総会長(崔栄信牧師)と総幹事(洪性完牧師)は、KCCJ を代表してお祝いの挨拶を伝えた。總會は、両教団の歴史的関係を踏まえながら「それぞれの教会の歴史とその独自性に立って、より深い教会的交わりと宣教協力関係を樹立した。そして、日本における福音宣教の新しい次元をつくり出すものだった」と評価した。そして、「聖ヶ丘教会が、なお、聖霊に満たされ、福音の真理を世に証しし、いよいよ主の栄光を現しますように」と祝った。

この歴史的な牧師就任式の司式と説教(「私の羊を飼いなさい」(ヨハネ 21:15-19))は、日本基督教団東京教区総会議長代理であり、西南支区長である及川信牧師(中渋谷教会)が奉仕した。さらに、この就任式に参加した来賓と教会員による感謝と祝福の献金は、受付に設置した義援金箱に入れるようにした。この献金は、東日本大震災被災教会のために捧げられた。朴壽吉牧師の就任式は、主日の午後 3 時から行われたため、總會を代表して総幹事(洪性完牧師)が参加して、共に祝い、共に喜びを分かち合った。

(報告: 編集部)



就任式のあと、記念撮影

2011 年 4 月 復活節朝, 在日大韓基督教会総会長 崔栄信牧師

## 2010 年ハイチ大地震 緊急募金報告 \*総会事務局到着順 /2011 年 3 月末現在

教会・団体	金額	教会・団体	金額
郡山伝道所	3,000	大阪平康教会	5,000
三次教会	15,000	名古屋教会	345,200
日立教会	10,000	東京綾瀬教会	5,000
長野教会	48,000	大阪北部教会	100,000
名古屋教会	18,650	(同) 女性会	148,178
永和教会	53,000	(同) 学生会	20,000
品川教会	20,000	(同) 教会学校	10,000
東京日暮里教会	68,500	浜松教会	14,080
大垣教会	18,000	岡山教会	32,000
平野教会	30,200	和歌山第一教会	79,500
三次教会	40,798	博多教会	41,000
東金伝道所	3,000	東京第一教会	50,000
豊中第一復興教会	15,690	岡山教会	32,000
武庫川教会	52,000	新潟教会	20,000
豊橋教会	52,700	西新井教会	95,021
沖縄教会	44,660	小倉教会	47,271
京都教会	187,435	神戸教会	95,200
大阪第一教会	25,450	(同女性会)	38,564
新居浜グレース教会	68,129	福岡中央教会	30,000
東京教会	112,282	聖山キリスト教会	50,000
(同) 女性宣教会	337,508	愛隣伝道所	30,000
京都南部教会	47,600	布施教会	40,000
堺教会	28,000	武庫川教会	100,000
大阪教会	455,715	大阪西成教会	71,213
横浜教会	38,000	堺教会	8,000
つくば東京教会	47,000	平野教会	43,000
浪速教会	40,428	ハンサラン教会	45,200
合計：3,403,374 円			
*募金された全額は、NCC を通して寄付されました。			

## 2011 年度 会長会議・一日研修会

去る 2 月 24 日(木)、西部地方教会女性連合会主催による、2011 年度会長会議・一日研修会が神戸東部教会にて開催された(34 名出席)。開会礼拝は、姜良姫副会長の司会により始まり、裴明德牧師(神戸東部教会)が「御ことばと共に」(申命記 6:4～9)と題してメッセージを行った。引き続き、会長会議では、沈貞児会長の挨拶と 5 教会(川西、神戸東部、神戸、岡山、広島)の各女性会会長より活動報告がなされた。それぞれ人数や状況も異なっているが、どの女性会も教会において大切な役割を担っており、多くは活発に活動している事が分かり、お互い励みになった。そして、会員たちは神戸東部教会女性会の心のこもって奉仕した料理をもって美味しい昼食を共にすることが出来た。

また、午後からの研修会では、李華順会計監査の司会で、開会礼拝に引き続き裴明德牧師(神戸東部教会)を講師に迎えて、「御ことばと共に」と題しての講演があった。裴牧師は、神さまからの「地上命令」である、「地の果てに至るまで」という御言葉を述べ伝えるための人材を育てる第一歩が、「一対一」であることを教えた。さらに、この「一対一」こそが「神の御言葉を正確に知る必要があることである」と強調した。参加者たちは、この教えにより、「聖書の御言葉に対して真実に向き合うこと」と、「それによって抱ける希望」が与えられた。

(報告：李炫知書記)



在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して 2006 年 4 月 25 日、創立 100 周年を迎えました。



- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル)：フロントは日・韓・英語に対応、24 時間サービス。10 名様から 2020 名様の間会議及び宿泊研修(50 名様)も可能。
- ◆スペースワイホール：220 席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化(チャング・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種こどもクラス
- ◆YMCA アジア語学院(日本語学校) ※会員及び教職者割引有

在日本韓国 YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国 YMCA アジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5

関西韓国 YMCA アジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道 3-14-15

TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633

TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

(税込)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592
朝食 ¥200 カルピック、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食(全メニューコーヒー付き)		



## 創世記連続講解 (3)

尹宗銀 牧師  
(横浜教会名誉牧師)



## 創世記 4 章

創世記 4 章の主題は、『カインとアベルの献げ物』であるが、それを分解すると 6 項目に分けられる。3 章では罪が世に入って来た経路を記録したのであったが、本章では罪が既に人間の心の底まで深く浸透した事実を記録している。

① 1－2 節：カインとアベルの誕生の記事である。

② 3－7 節：カインとアベルが献げ物をする。

③ 8－12 節：カインが弟アベルを撃ち殺す記事である。

④ 13－16 節：カインが受ける刑罰を恐れている姿を描いている。

⑤ 17－24 節：カインの子孫と彼らの文明について記している。

⑥ 25－26 節：アベルの代わりにセトとエノシュの誕生の記事がある。

アダムの罪は、既に子孫に遺伝され家庭に悲劇をもたらした。カインとアベルは兄弟で、二人共に神に献げ物をした。カインは自分の『土の実り』(自義)を献げ、アベルは牧羊の関係上羊の初子を献げた。この二人のことに對してヘブライ書記者は、『アベルはカインよりも優れたいけにえを神に献げた』(ヘブ 11:4)とする。

いけにえを受け入れた証拠として天の火から燃やす事で証明した。神はアベルのいけにえを受け入れ、カインの形式的ないけにえを受け入れなかった。これに對してカインの態度は弟アベルの祝福の方法を見ながら、それに倣うという考えを持たずに、むしろ妬み殺害することによって、悪をもって善に敵対した。

アダムの罪の種はカインにおいて実っていた。神はカインに事前に反省の機会を与えたが(6、7節)、彼は悔い改めないで、むしろ神を無視して反抗した(9節)。神は、再度悔い改めを促したが、反省せずに(11節)、呪われる者となった。カインは罪を認識し罪の結果を悲しみ、人を恐れた(14節)。しかし真心をもって神を恐れずに罪を悲しまなかった。しかし神は、彼に恵みの〔しるし〕(oth, mark)を与えた(15節)。

わたしたちは罪人に対する神の愛に感嘆する。ここから自義と他義の二大潮流はキリスト教歴史上今日まで相反して流

れている。カインは最初の迫害者であり、アベルは最初の殉教者である。カインの子孫エノク(Enoch)とその子孫レメク(Lamech)の法は、世界最初の法で武力主義・軍国主義の法となった。武力主義は不道德を礼賛する軍国主義の始まりである。つまり殺人者であるカインの遺産である。

## 創世記 5 章

創世記 5 章の総主題は『霊の子孫の系図』であるが、分解すると 3 項目に分けられる。

① 1－20 節：アダムからイエレド〔Jared〕までの系図。

② 21－24 節：聖なる者エノク〔Enoch〕の生活と昇天。

③ 25－32 節：メトシェラ〔Methuselah〕からノア〔Noah〕まで。

本章は、アダムからノア〔Noah〕までの系図である。系図は、英語訳では〔the book of the generations〕と訳されている。4 章は、肉の子孫の系図であり、アダムからレメク〔Lamech〕までの系図であったが、本章の記事を見れば、『もうけた』〔begat〕と『死んだ』〔died〕と言う生死、二字で反復されている。幾ら長寿した者であっても『死んだ』という簡単な言葉で終わっている。

それゆえに本章は『罪の価は死である』と言う鉄則を雄弁に証明している。そういう中にあっても死が命に呑み込まれたと記録している。それはエノクが神と共に歩み、神が取られたのでいなくなったのである(22-24 節)。彼は、隠遁生活や禁欲生活をしたのではなく、平常の人のように複雑な家庭生活や子女を生み育てながら神と 300 年間共に歩まれた。

聖潔な生活を持って神を喜ばす者は、天に移される前に、証明されたとヘブライ書記者は証言している(ヘブ 11:5)。これまでアベル以外に死んだ者はアダムだけである。神は、罪の価は死であると言う事実はアダムの死をもって証明すると同時に、エノクを通して死の力を克服して永遠に生きられる道も示された。言い換えるならば、アダムに属する者は死ぬと同時にキリストに属する者は生きられると言う真理を表明された(コリント一 15:22)。

レメク〔Lamech〕は、その子をノア〔Noah、(慰め)〕と名付けした。4 章での肉の子レメク〔Lamech〕は殺戮〔slaughter〕の歌を歌ったが、本章の子レメク〔Lamech〕は慰め・安息の歌を歌った。二人の名前は同じであるが、歌は異なると同時に霊・肉の差も相異なる。ノアは五百歳になった時、セム〔Shem〕、ハム〔Ham〕、ヤフェト〔Japheth〕をもうけた。

不動産管理  
アルカンシェル名駅

李 光 世  
(名古屋教会 長老)

〒453-0013 名古屋市中村区亀島 2-2-27  
電話・FAX 052-451-7713 携帯 090-3578-7571  
E-mail:kwangse.lee@nifty.com

株式会社 ニューキング  
有限会社 三 愛  
取締役社長 李 鍾 善 (名古屋教会長老)

ニューキング 四日市市野田 1 丁目 965-1  
TEL 0593-31-4771(代)  
三 愛 岡崎市大和町字荒田 14-1  
TEL 0564-31-8893(代)

&lt;コラム 94 &gt;

**青年会全国協議会と韓国民主化**

李清一 (歴史編纂委員会)

昨年(2010年)9月、韓国の「民主化運動記念事業会」(記念事業会)の史料館長から突然、1974年4月と6月の2回にわたって実施された「韓国の拘束者の家族のための大バザー」についてのインタビューの申し入れがあった。この記念事業会は、韓国の民主化運動を記念し、その精神を継承するための事業を実施することによって民主主義の発展に寄与することを目的に、2001年6月に民主化運動記念事業法によって設立された。

記念事業会が関心をもつ「韓国の拘束者の家族のための大バザー」とは、在日大韓基督教会の青年会全国協議会(全協)と日本アムネスティの協同でなされたものである。4月には東京の山手教会(日本基督教団)で、6月には大阪のKCCで、各々2日間ずつ開催され、純益は200万円を超え、折半された全協分は、韓国のNCCを通して拘束者家族へと手渡された。

すでに36年という年月が経っていたが、これらの事実関係を知り、韓国の民主化運動を支えた一里塚として記録に留めるためにスタッフを派遣してきた「記念事業会」の働きには、改めて驚かされた。バザーを主体的に担った全協がバザー開催に至るまでには、種々の過程を経ている。

解放後、在日大韓基督教会は、1945年10月に「在日本朝鮮基督教連合会」を組織して、再出発した。青年会もその組織化に向けて動きを進めていたが、46年9月の第2回定期総会で、青年会名称を「勉励青年会」とすることが決議される。そして、翌年の第3回定期総会では、「勉励青年連合会組織を総会直轄とすることが決議された。

1950年度の教会教勢統計表によれば、青年会組織は18教会中12教会にあり、その会員数は371名となっている。この頃の勉青連合会の主な活動は、夏期修養会の企画と準備であった。戦後の修養会の開催は、48年8月に比叡山で行われたものが最初であった。それ以降、50年を除いて毎年、実施された。

青年会組織としては、1948～52年の勉励青年会連合会から、52～63年の勉励青年会中央委員会(地方会青年会より中央委員を選出した)へと変遷している。この後者の時期には、52年に設置された青年局の指導のもと、自主的な組織として運営されるようになる。54年(第10回定期総会)において総会は「青年主日」を定め、その主日献金の半額を青年運動のために用いることを決議している。そして、63年以降は、青年会



修養会、1956年 東山壮

地方会連合会の会長及び個教会青年会からの代議員によって構成される青年会全国協議会(全協)となった。

この組織改編によって全協は、個教会青年会と直接繋がることとなり、夏期修養会の実施のみでなく、1969年からは全協主導による春の指導者研修会を通して、個教会の抱える課題や意見を受け止め、全国的な規模でより主体的な活動を展開していくこととなる。

また、同じく1969年には入管法改悪反対運動を展開し、社会参与を開始している。73年12月には、韓日閣僚会議反対の抗議文を発表すると同時に、東京数寄屋橋においてハンストを行うなど、数多くの声明書や宣言文が出された(『全協のあゆみ』)。74年1月の指導者研修会で出された決議文の行動目標には、①韓国の民主化支援、②在日韓国人の基本的人権の確保、③在日大韓基督教会の変革などが挙げられている。「韓国の民主化支援」は、72年7月4日に発表された南北共同声明や、その後の南北実務者会談などの南北対話への関心の高まり、そして73年5月20日付で韓国のキリスト者から民主化のための連帯を求めて出された「1973年韓国キリスト者宣言」などへの応答であったといえる。73年12月8日付の全協声明文には、「われわれ在日韓国人キリスト者青年は、現在、祖国の地で命を賭して自由回復と人権確立のため戦っている同胞を支援しつつ、この地における差別・抑圧状況を満身の怒りをこめて糾弾し、行動することを声明する」とある。

これらの訴えの延長線上に、「韓国の拘束者の家族のための大バザー」が実施された。当時の在日大韓基督教会においては、全協のこれら一連の働きについて批判する人たちも多く見られた。しかしながら、一部の青年の動きのように思われたこれらの働きは、30数年の歴史を経る中で、在日大韓基督教会全体の貴重な財産となっているといえる。時の徴に敏感な若者の感性の大切さを今改めて思い知らされる。